

2010年11月30日

## 第7回大村入国管理センターと意見交換会報告

移住労働者と共に生きるネットワーク・九州

### 大村入国管理センターへの質問と回答

#### 1、収容施設及び被収容者の状況

##### ①現時点(2010年10月末)での収容定員と収容人員

- ・国籍別被収容者数(内女性) 世代別(10代、20代 30代 40代 50代以上)
- ・九州外の入国管理センターなどから移送されてきた被収容者の割合を教えてください。

##### 《09年の回答》

- ・2009年9月末現在の収容者数 44名 全員男性。九州以外から移送されてきたものが95%を占めている。

##### ・国籍別内訳

中国 17名 フィリピン 9名 ブラジル 4名 ペルー 3名 ベトナム 3名  
ミャンマー 2人 イラン 2人 その他 4名

##### ・世代別

10歳代 0名 20歳代 9名 30歳代 14名 40歳代 13名 50歳代 8名

##### 《10年の回答》

- ・収容定員 800名

- ・10年10月末現在の収容人員 20名(全員男性) 九州以外からの移送者 50%

##### ・国籍別内訳

中国 7名 パキスタン 5名 カメルーン 2名

その他6名(イラン ペルー ブラジル バングラディシュ ロシア ベトナム)

##### ・年代別

10歳代 0名 20歳代 4名 30歳代 4名 40歳代 9名 50歳代以上 3名

##### ②2009年の平均収容期間と長期収容期間について教えてください。

##### 《09年の回答》

- ・平均収容期間 25日

- ・長期収容期間 1年5ヵ月(2009年9月末現在)

##### 《10年の回答》

- ・平均収容期間 38.4日

- ・長期収容期間 1年2ヵ月(2010年10月末現在)

##### ③現時点(2010年9月末)で6ヶ月以上の長期収容者の人数について教えてください。

##### 《09年の回答》

6ヵ月以上 5名

##### 《10年の回答》

6ヵ月以上 10名

##### ④2009年と2010年1月～9月の収容施設内での被収容者の自殺未遂(自傷行為)の件数は何件ですか。

##### 《09年の回答》

- ・2008年 自殺未遂 0件 自傷行為5件(同一人の複数件数を含む)

- ・2009年1月～9月 自殺未遂0件 自傷行為 2件

《10年の回答》

- ・2009年 自殺未遂 0件 自傷行為 1件
  - ・2010年 1月～10月 自殺未遂1件 自傷行為 0件
- 09年回答のうち1件は、自殺をほのめかす発言のため訂正する

⑤2009年と2010年1月～9月の期間中に仮放免が認められた人数とその主な事由別(帰国準備、病気療養、行政訴訟係争中、難民認定関係、その他)の内訳人数を教えてください。

《09年の回答》

- ・2008年 7名 2009年1～9月 5名
- ・2008年の理由別内訳 出国準備 1名 病気治療 1名 長期収容 5名
- ・2009年1～9月の理由別内訳 行政訴訟係争中 2名 出国準備 0名 病気治療 1名 長期収容 0名 その他(人道配慮等) 2名

《10年の回答》

- ・2009年 5件許可
  - ・2010年1月～9月まで 9件
- 諸般の理由を考慮して仮放免しているので、個別の理由は答えられない

⑥国費送還者は2009年及び2010年1月～9月の期間中に何名いましたか。

《09年の回答》

- ・2008年 11名 2009年1月～9月 7名

《10年の回答》

- ・2009年 15名
- ・2010年1月～9月 10名

⑦被収容者からの苦情申し立ては、2009年及び2010年1月～9月の期間中に何件ありましたか。その苦情の内容の主なものは何ですか。

《09年の回答》

- ・2008年 該当者なし 2009年1月～9月 該当者なし

《10年の回答》

- ・2009年及び10年9月まで該当者なし

⑧2009年及び2010年1月～9月の期間中に収容者の中で宗教上の行事を希望した者は何名いましたか。

《09年の回答》

- ・2008年 1名 2009年1月～9月 1名(7回)
- ・ラマダン期間中は、給食時間を変更する配慮をしている

《10年の回答》

- ・2009年 1人7回
  - ・2010年1月～9月 6名  
1人礼拝 4回 一斉礼拝 6名
  - ・ラマダン遵守の申し入れがあったので、ラマダン期間中は給食時間を変更した(3名)
- ⑨2009年及び2010年1月～9月の期間中に収容者の中に人身売買被害者は何名いましたか。いる場合は、その人数と国籍を教えてください。

《09年の回答》

- ・2008年 該当者なし 2009年1月～9月 該当者なし

《10年の回答》

- ・2009年及び10年9月まで該当者なし
- (注) 人身売買被害者は収容対象でない・・設問に検討が必要では

⑩2010年9月末時点で、大村入国管理センターの被収容者の中に刑事罰を受け受刑後に収容されている外国人は何人いましたか。また、6ヶ月以上の長期収容されている者のうち何人いましたか。

《10年の回答》

- ・2009年 11名 6ヵ月以上は5名
- ・10月末時点では13名 6ヵ月以上 7名

⑪2009年7月に改定入管難民認定法が成立して以降、各地の収容施設で被収容者を対象に新に提案箱が設置されていると聞いていますが、大村入国管理センターにおいても設置されていますか、あるとすれば、これまで何件の提案がありましたか、

《10年の回答》

提案箱は設置されているが、開封は入管職員ではなく、委員会へ箱ごと送付するか、視察時に回収されるために、提案件数は分からない。

## 2、職員体制について

⑫2010年度の大村入国管理センターの職員定員は何人ですか。2010年度は前年度に比べて、どの分野にどのくらい増員がなされましたか。

《09年の回答》

- ・総定員数56名。前年度より10名の減少
- ・職員構成などについては解答できない。

《10年の回答》

- ・2010年 56名 増減なし
- ・人員配置は本省が決めることだが、交代制の勤務であり、この人員数は必要と考えている。

⑬職員で対応できる外国語は何ヶ国語ですか。また、通訳を依頼する場合に対応できる原語は何ヶ国語ですか。昨年のお返より変化している場合もお答えください。

《09年の回答》

- ・職員には語学委託研修を実施している。
- ・通訳者は必要に応じて登録している通訳者に依頼して来所か電話で対応している。

《10年の回答》

- ・昨年と同じ

⑭2009年及び2010年1月～9月の入管センターの一人当たりの月平均残業時間はどのくらいですか。

《09年の回答》

- ・2009年及び2010年1月～9月は月平均10時間程度。

《10年の回答》

- ・2009年は9時間
- ・2010年1月～9月は8時間

⑮2010年度の大村入国管理センターでの医療スタッフ(医師、看護師、薬剤師、その他)の内訳を、昨年のお返と比べて人数など、訪問日に変化しているところがあれば教え

てください。

《09年の回答》

・常勤医師(内科)1名 歯科医1名(火曜日と金曜日の週2日) 看護師2名

《10年の回答》

・昨年と同じ

⑤長期被収容者の中で精神を病んでいる被収容者のケアについてお聞きします。

メンタルケアの専門家によるカウンセリングは昨年の回答に比べて変化していますか。また、投薬をしていますか。

《09年の回答》

・昨年と同様である。

・月2回(午後)メンタルケアの専門家、臨床心理療法士1名によるカウンセリングを実施している。

《10年の回答》

・昨年と同じ

⑥メンタルケアの専門家によるカウンセリングの際に、通訳がついたケースは何件ありましたか。

《09年の回答》

・2008年 3件(英語)

《10年の回答》

・2009年 0件

⑦2009年に被収容者から外部の医療機関での受診・検査の希望は何件ありましたか。

また、その内外部の医療機関に受診・検査が認められたのは何件ですか。

《09年の回答》

・12件、外部で受診した。

・申し入れにより2件、医師の判断で10件を外部で受診した。

《10年の回答》

・2009年 23件 外部で受診・すべて官費  
希望の有無は取っていない

⑧2008年に常勤医師に診察された被収容者のうち、通訳がついて診察が行われたケースは何件ありましたか。

《09年の回答》

・2008年 7件

《10年の回答》

・2009年 0件

### 3、被収容者の処遇について

①2009年度の被収容者一人当たりの一日の経費はいくらかかりますか。

《09年の回答》

被収容者1人当たり1日の経費は多岐にわたり算出が困難で回答できない。

《10年の回答》

経費は、食料・医療・クリーニング・光熱水道費・冷暖房・配膳・清掃・ごみ処理・護送・警備・人件費など多岐にわたり算出が困難である。

②2009年の一部屋の定員及び一部屋の平均収容人員数は何人程度ですか。また、1人部屋の新設はありましたか。

《09年の回答》

- ・一部屋の定員は10名一部屋の平均収容人数は、おおよそ6～8名。
- ・1人部屋の新設はない。

《10年の回答》

- ・10人部屋に対し4～5名 1人部屋は無い

③運動時間、入浴、衣類の洗濯について。昨年と比べて変化したところがありますか。変化しているものをお答えください。

《09年の回答》

- ・昨年と同じ。

《10年の回答》

- ・2010年6月に入浴(シャワー、毎日)時間を13時～16時30分に拡大した。  
(従来は14時～16時)

④被収容者の食事については、昨年と比べて変わったことがあれば回答してください。

《09年の回答》

- ・昨年と同じ。

《10年の回答》

- ・2010年4月から給食業者を変更した。
- ・豚肉を使用しないようにし、カレーメニューを新設するなど、同じようなメニューが続かないように配慮している。

⑤面会者は2008年に延べ何名くらい被収容者と面会していますか。

《09年の回答》

- ・2008年 延べ1,206名

《10年の回答》

- ・2009年 1450名

⑥被収容者の治療の際に施設内に常備されている薬はどのくらいの種類の病気に対応できる薬が常備されていますか。また、年間どのくらいの薬が使用されていますか。また、昨年の回答と比べて変化しているものがありましたらお答えください。

《09年の回答》

- ・常備薬 診療所 161種類 警備室 11種類
- ・処方した薬 \*診療所 15,425個体(1枚10個体) \*警備室 2,393個体

《10年の回答》

- ・常備薬 200種 市販薬 11種あり
- ・内科・外科・整形外科・泌尿器科・耳鼻科の医院が対応できる同等の薬を用意している。
- ・使用実績は、処方14610個 市販2386個

⑦施設内に設置されているレントゲンは、2009年と2010年1月～9月までに何人の被収容者に使用されましたか。

《09年の回答》

- ・2008年 648件
- ・2009年1月～9月 222件

## 《10年の回答》

- ・2009年 234件
- ・2010年1月～9月 131件

### 4、入国者収容所等視察委員会について

2009年7月に成立した改定入管難民認定法で、「入国者収容所等視察委員会」が設置されました。これまでに、この「入国者収容所等視察委員会」による大村入国管理センターへの視察が行われましたか。

行われているとすればどのような意見が出され、それに基づいてどのような大村入国管理センターの運営や処遇の改善がなされましたか。また、行われていないとすればいつ頃行われますか。

#### 《回答》

入国者収容所等視察委員会には東日本と西日本地区があり、当センターは西日本地区入国者収容所等視察委員会の所管になっている。視察は2010年9月14日に実施された。視察や面接の結果を会議で検討した後、所長宛に意見が来ることになっている。

### 5、質疑応答・要旨

Q、収容者全体の減少と刑罰受刑者の増加について。

A、名古屋(400名)や大阪の地方施設の充実により、他の施設が満員になって九州へ移送というパターンが減少している。今後はエリアを越えて大村に移送することは無いのではないかと。大村に来る範囲は広島以西と四国と九州・沖縄である。

また、不法滞在者減少5ヵ年計画が成功し収容対象者が減少している。刑罰受刑者は九州管内から来るため、全体が減少する中で、その比率がアップしている。

Q、収容期間が2～3週間ではなくなってきたのではないかと。

A、もともと、センターの役割として、パスポートやお金が無く、令状が出ているが日本に残りたいという人が集まるために長期収容者は多かった。

退去令状が出ている人の基本は帰ってもらうことであり、われわれは送還に向けた努力をしている。

Q、大村センターのこれからはどうなるのか。

A、今後の経済・社会情勢は不透明であるが、今後の展開は本省が決めることである。しかし、国際情勢などで状況が変わることもありうるかと考えている。

Q、今後、女性が収容されることはないのか。

A、女性が収容されれば女性職員の配置をしなければならない。職員人員数の面から当面入ってくることはない。

Q、国際情勢が緊迫しているが、この事態に対処する用意はあるのか。

A、この施設は難民などに対処するものではないので考えていない。